



入学式

暖かい春の陽射しを感じる4月6日、入学式が行われました。新入生は適度な緊張の中、堂々と入場し、さわやかに返事をすることができました。2・3年生は心を込めて準備をし、落ち着いた雰囲気と美しい歌声で、温かく1年生84名を鶴岡四中の仲間を迎えることができました。令和6年度が本格的にスタートしています。



新入生代表のあいさつ

桜の花が咲きほこる季節となりました。本日はこのような立派な入学式を行っていただき、ありがとうございます。私たち84名の新入生は、今、中学校という新しいステージに立っています。私たちはこれから始まる中学校生活への期待を胸に、今日この日を迎えました。入学にあたり、私は姉から四中のよさを聞きました。「あいさつが活発である」「体育祭で学年の壁をこえたつながりが深まる」「雰囲気が明るい」「先生と先輩が優しい」など、たくさんのよさがありました。この話を聞いて四中への入学が、とても楽しみになりました。

私は中学校で頑張りたいことがあります。それは、執行部に入り、よりよい四中を作っていくことです。私たちは昨年「さわやか四小」を合言葉に、様々なことに取り組んできました。私は運営委員として、あいさつ運動やさわやか活動、児童会行事など、さわやかな四小を実現するため、みんなで協力して取り組んできました。小学校で頑張ってきたあいさつを中学校でも続け、明るい四中を作っていきたいです。そして仲間と協力し、いつも前を向いて頑張っていきます。誰かに頼られる人になれるように、責任ある行動をとっていきたいと思います。

これから始まる3年間の中学校生活は、新しい環境で新しいことをたくさん経験すると思います。部活や行事での先輩方とのつながりが増えていくこと、目標に向かって部活と両立していくこと、不安はあるけれどこれからの生活がとても楽しみです。先生方、先輩方、並びに来賓の方々、温かく、

そして時には厳しく、ご指導くださいますようお願いいたします。



歓迎の言葉を 生徒会長 が伝えました

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今日から皆さんは中学生です。皆さんはこれから始まる中学校生活、どんなことを思っていますか。「なんの部活に入ろう。」「どんな先輩がいるんだろう。」「中学校の勉強ついていけるかなあ。」など、今から期待や不安で胸がいっぱいだと思います。中学校には部活や先輩という存在、受験勉強など皆さんにとって初めてのことが沢山あります。特に四中には、四中最大の特徴である二大行事の体育祭や合唱祭があります。四中二大行事はその時期になると、学年を超えた縦のつながり、そして学年・クラスでの横をつながりが深められる四中の大切な行事です。

また、四中では特に挨拶に力を入れており、挨拶において四中で目標にしていることが書いてあるあいさつ四原則では、その名の通り四つの大切なことが書いてあります。皆さんもこれから四中で明るい挨拶を響かせていてください。

(裏面に続く)

今日から始まる三年間の中学校生活、大変なことや悩むことが沢山あると思います。そんな時は周りを見てみてください。皆さんの隣にはこれから三年間、楽しい時も、つらい時も、どんな時も時間を共にする仲間がいます。顔を上げれば、皆さんが悩んだり困ったりした時に背中を見せて道を教えてくれる先輩たちがいます。そして皆さんが家に帰ればこれまでもこれからの三年間も私達を支えてくれる家族がいます。困ったら私達を頼ってください。二・三年生一同これから皆さんと四中で過ごすことを楽しみにしています。

教職員一同 令和6年度もどうぞよろしく申し上げます 下線は新任者

氏名	教科	担任担当	氏名	教科	担任担当
ホームページ上での掲載は控えさせていただきます					



4月5日の始業式では、生徒会副会長 が 新年度の抱負を述べました

皆さん去年の生活はどうでしたか？私は生徒会活動を通して考えたことはあいさつと決まりのあり方です。まず、あいさつについてです。執行部では、以前のあいさつを取り戻したいと話していました。そこで、あい活プロジェクトを行ったのです。あい活期間中は、先生とのあいさつは活発で多くの生徒がシールをもらっていたようでとてもよかったと思います。期間が終わった後も、企画を行う以前よりあいさつが学校で響くようになっています。先生方の話を聞いてみても以前よりもあいさつをされるようになったそうです。ですが、執行部では、四中ならもっと上のあいさつを目指せると思っています。新一年生も入ってくるので四中のあいさつのお手本を見せられるようにしましょう。

次に、決まりのあり方についてです。皆さんは、卒業式での「自由には責任が伴う」という言葉を覚えていますか？決まり改正が行われ「個人の判断」という言葉をよく見るようになりました。そのおかげで過ごしやすくなったと思いますが、今まで決まりというものに守られていたものが、「自己責任」になってしまいます。そうになると、自分で考え、判断し行動する力が必要です。だから、先生方からの指示を待つだけではなく、自分たちで考え指摘し合い、行動していけるようにしましょう。

二、三年生の皆さん、去年の生活を振り返り、今年どのように過ごしていくのか自分で考えて、後輩を迎えた新しい生活をスタートしていきましょう。

9日には「四中を知る会」10日には「部活動紹介」も生徒会執行部が運営し、とてもいい会になりました。リーダーたちを中心に、生き生きとした四中生の姿がみられます。